

WEEKLY NEWS 2018 週報 通算 2239回 《7回》

第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

会長：鯨 拓也 幹事：宇治田堅三 会報委員長：籠田 弘



ロータリー：
変化をもたらす

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
事務局 E-Mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

本日の例会
8月30日(水)
12:30～華月殿

- ・開会点鐘 鯨会長 ・ロータリーソング 我等の生業 ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告
- ・行事 外部卓話 自衛隊和歌山地方協力本部 本部長 錦織 誠様「最近の安全保障環境とこれからの日本の防衛」 ・閉会点鐘 鯨会長

先週例会報告 会場監督 塩崎 和仁

ゲスト: 画家 小川 泰弘様 ビジター: 吉田知子様

会長挨拶

鯨 拓也 会長

皆さん、こんにちは。お盆も過ぎ、残暑は相変わらずですが、朝夕はひんやりとした空気が心地よく感じられるようになりました。
今日は、前回に引き続き外部卓話です。画家の小川先生 よろしくお祈りします。
先ほども竹中さんが高校野球が面白いといわれておりましたが、広陵の中村君、すごいですね。大会ホームラン記録、清原を抜いて6本に更新。今日14:00から決勝ですが、ここまで来たら優勝させてあげたいですね。
今週は台風も無いのでネタ切れしています。
小川先生の卓話、じっくりお聞きしたいので終わります。



幹事報告

宇治田堅三 幹事

- ① 和歌山南 RC 金屋直俊会員のご尊父が8月20日にご逝去されました。クラブより弔電をお送りしています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ② 2件お知らせが届いています。各テーブルに一部置いています。お目通しください。
 - ・サポセン和歌山第28号(更生保護サポートセンター)
 - ・2018年ロータリー国際大会トロントの案内(阪急交通社)
- ③ 地区大会のご案内が地区より届いております。皆様のラックにチラシをいれさせて頂いております。お目通しください。
 - 11月4日(土)・5日(日) ダイワロイネットホテル和歌山4F
 - 4日(土) 本会議(セミナー(RI 会長代理による講演・選挙人会議)・RI 会長代理ご夫妻歓迎晩さん会
 - 5日(日) 本会議(地区・RI 現況報告、選挙人会議報告、地区大会決議等)
 - ・記念講演「菩薩の心とロータリー」北河原公敏様 奈良大宮 RC パスト会長・第2650地区パストガバナー・東大寺長老、東大寺学園理事長
 - 10月30日(月) 地区大会 記念ゴルフ大会 南紀白浜ゴルフ倶楽部
- ④ 青少年交換長期・短期派遣学生の帰国報告会及び受入留学生のオリエンテーションの案内が地区より届いています。9月3日(日)14:00～16:00、りんくう物流センターにて開催されます。
- ⑤ 第2640地区米山学友総会のご案内。日時・場所：9月9日(土)11:00～14:00、南海グリル ポピア(堺市堺区) 参加費：ロータリオン 8,000 円、OB. OG 5,000 円



Rotary  和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計	582,776	250,000	167,000	32,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	43名	8/23	34名	82.93%
出席免除会員	4名	8/2	32名	82.05%

ニコニコ箱

小林 一三 会計

鯨君・今夜は外孫のお七夜、母子共の健康に感謝！
竹中君・小川先生 本日はよろしくお願いいたします。
吉田会員の奥様 ようこそお越しくださいました。
配偶者お誕生日お祝い・有本君。

ロータリー財団

宇治田君・小川様 暑い折お越し頂きありがとうございます。卓話よろしくお願いします。

米山記念奨学会

坂口君・毎日、暑いです。



外部卓話 「私の絵について」 画家 小川 泰弘様



1 簡単な自己紹介

・初めまして、小川泰弘と申します。普段は1人で絵を描く作業も多く、人前での話はあまり得意ではないので、お聞き苦しいところも多々有ると思いますが、しばらくおつきあいよろしくお願い致します。
本日は私が描いている、油絵とテンペラ絵具を交互に重ね合わせて描いていく、混合技法というルネッサンス以前からある油絵の技法ひとつを皆様に紹介してゆきたいと思います。さて、まず私の現在に至までのお話から始めさせていただきます。わたしは海南で生まれ小中高と海南の学校に通いました。そして海南高校で浜田邦男先生にお会いしたのが絵の世界へのきっかけとなりました。

- ・芸大入試験のいきさつ。
- ・入学後から卒業論文にあたる卒業制作での混合技法との出会い。
当時は材料がなく苦勞して制作する。

2 大学からイタリア迄の過程を簡単に説明

- ・帰郷後2年間の家具屋勤めの後1982年旅行のつもりでイタリアへ。
- ・イタリア、ペルーシア3年、ローマ2年。その間の展覧会等…と
- ・バルディ工房・映画ローマの休日グレゴリー・ペック扮する記者が住んでいたVia Marugutta通りのアパートのすぐ隣の工房へのいきさつ。
- ・帰国後寿司屋でバイトしながら制作。1989年銀座春秋画廊個展でのためなが氏と出会い。

3 混合技法について油絵との違いを簡単に説明

- ・テンペラ絵具の作り方、普通の油絵との描画法の違いなど簡単に。

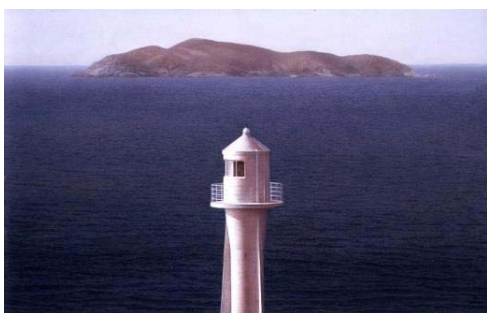
4 具体的作品紹介

- ・実物とスライドショーで紹介。

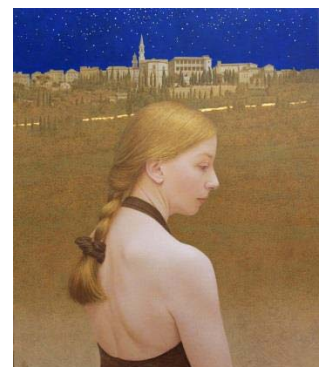
5 これからの絵の方向性について

- ・見えるモノを写實的に表現する絵画という枠を超えて、人物で有ればその方の心奥深く、魂の次元とでもいうところからふつとにじみ出てくる、仏性とでも呼べる光のようなモノを表現出来ればと思います。そして、最後に私が絵の道を歩んでくるにあたり、様々なアドバイスと人生の導きを頂いた方、高橋佳子氏の御著書「運命の逆転」を紹介させていただきます。

本日は本当にありがとうございました。



「約束の地」2009年



「永遠の旅人」2015年

「とらふす祭り」 2017年8月26日(土) 場所:虎伏学園

参加者：鯨会長・楠見青少年奉仕委員長



理事長 稲葉禮野様



副学園長 前田哲也様





とらふす祭り



日 時：平成29年8月26日(土) 17:00~20:00
 会 場：虎伏学園

プログラム 18:15~(園庭仮設ステージにて)

幼児のダンス
 女子のダンス
 PPAPのダンス
 ハンドベル演奏
 虎伏太鼓演奏
 ビンゴゲーム

模擬店

お好み焼き	焼きそば	おでん	おにぎり
フランクフルト	かき氷	ポップコーン	
綿菓子	ジュース他		

ゲーム

当たりもの 輪投げ お菓子釣り

「日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う」

MY ROTARY ニュース・特集記事より抜粋 Feature 23-Jun-2017

執筆: Vanessa Glavinskas 写真: Robert Gill

陣痛がはじまり、妊婦はおびえています。予定日は3カ月も先。一番近い病院は48kmも離れており、生まれても体重は1,000gに満たないでしょう。問題はもう一つ。

病院の新生児集中治療室には保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。

ブラジル・リベイラバレーの病院(Dr. Leopoldo Bevilacqua Regional Hospital)でも、多くの妊婦が同じような困難に直面しています。設備が不足すると、すでに危険な状態にある新生児をほかの病院に搬送しなければなりません。この影響は、サンパウロ州の高い乳児死亡率に表れています。

「ここには2つの現実があります。私立病院の費用を払える人と、払えない人です。払えない人は、24もの町をカバーしている州立病院まで長距離を往復しなければなりません」。Registro-Ouro ロータリークラブ(ブラジル)のプロジェクトを主導したリナ・シミズさんは、このように話します。

そこでクラブは、岐阜県中津川の2つのロータリークラブとパートナーとなり、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。ロータリアンは172,500ドル(約1,900万円)を集め、新生児の集中治療室に保育器5台を追加。これにより、それまでの倍近い新生児の受け入れができるようになりました。2013年には新生児129名、プロジェクト完了後も毎年、新生児約220名の命を救っています。

また、換気装置5台、ビリルビン測定装置1台、ベビーベッド3台、血圧・心拍数モニター5台、新生児黄疸光線治療器1台も設置したほか、住民を対象に出産前ケアのワークショップの推進にも貢献しました。この活動は、医療サービスや出産前ケア・母乳の重要性についてあまり知らなかった遠隔地の妊婦にとって、大きな支えとなりました。

中津川のロータリアンは以前、補助金で困難を経験したことから国際活動の支援を断念していましたが、今回の経験が大きな転機となりました。この変化を導いたのは、レジストロ市と中津川市の「姉妹都市」提携です。

「これは当初、ブラジルの別のクラブのプロジェクトだったのですが、資金パートナーを探すだけで5年も要していました」とシミズさん。「私たちは3年で実行できました」

双方のロータリアンは、定期的に交流して友好を深めてきました。だからこそ日本のロータリアンも、自分たちの資金が有効に使われると確信できたのでしょう。日系人で日本語を流暢に話せるシミズさんの存在も、信頼関係とコミュニケーションの構築に大きく寄与しました。

ここには37年かけた友情と絆がある。中津川ロータリークラブの原満夫さんは、そう述べていました。



新生児の集中治療室に5台の保育器を追加したことで、それまでの倍近い新生児の受け入れが可能になりました



ロータリアンは、換気装置、ビリルビン測定装置、ベビーベッド、血圧・心拍数モニター、新生児黄疸光線治療器も提供しました



私立病院の費用を払えない人は、24の町をカバーしている州立病院まで長距離を往復しなければなりません